磐城毎日新聞　昭和25年(1950) 11月26日(日曜日) 第158號【日刊・月曜休刊】

磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市南町
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話(平)一一二〇番

水野町長等急遽上京

ビニロン工場誘致可能か

原ノ町と小名濱町の二候補地を繞りビニロン工場誘致問題については豫てより激烈な爭奪運動を展開していたが、各方面の意見は原ノ町に有利で立遅れの感ありと悲觀說濃厚だつた小名濱町では、今回の倉敷重役と技術陣の立地條件踏査等から會社側でも兩候補地の優位な地理的條件を生すため原ノ町を原料工場に小名濱町え仕上分散設立の案が持ちあがつているもの丶如く、早くもこれを察知した水野小名濱町長、小野務平、金澤勉、木村祐、佐藤貞吾の各町議一行は廿四日午後四時十七分平驛發列車で上京、會社側に運動を開始した

平市一小校不正事件

愈々核心衝いて

山本檢事今日から取調再開

平市第一小學校建築工事に絡む不正事件については去般來地檢山本次席檢事が主体となつて取調べを續行していたが事件が郡山、東京平の各地に工事關係者が散在しているため取調べは遲々として進行せず、鋭意證據固めに奔命中だつたが外かく調査もほゞ完了した、山本檢事は廿五日午前十一時着列車で再度平檢察廳內にある捜査本部に入り關係者の取調べを開始した、今回の取調べによつて市民から兎角の流說をまき散されていた不正事件も白日化されるであろう

〃〃〃〃科學教育研究會

植田、錦、山田、勿來、上遠野、川部、田人の第一區校長協議會石城支部では廿五日午前九時から上遠野中學校で生徒七十名參加、科學教育研究會を開いた

僻地校を蓮沼

縣教委視察

蓮沼縣教育委員は來る三十日、十二月一日の兩日に亘りへき地教育狀況視察のため川前村桶賣小學校並に小白井分教場に至り現地の實狀を視察するが、この機會に同地青年會、婦人會主催の教育、縣政に關する講演を行うはず

失業對策協議

正月費用も折込み

稼働日の增加も考慮

平地區失業對策部會は二十四日午後一時から市會議室に樋口縣職安課長、職安、土監、復興事務所など事業主体及び關係市町村長ら約三十名が出席、今後の失業對策諸問題について協議した

主な內容は

△四・四半期就勞ワクについては現在管內一千八百名を各地區五十名―八十名增の二千三百名の線を縣が責任を持つて政府と折衝獲得すること

△作業規律については從來八時間制が基本であるが各地に「こまわり」制的なやり方が多く午後一時二時ころ歸つてしまうところもあり八時間制を嚴守すること

△十二月中における就勞ワクの調製については年末でもあり勞務者の生活費も相當かゝることでもあるので現在月平均の十四乃至十五日の線を月二十日の線に增して實施するそのためのはみ出したワクに就ては縣で責任を持つて獲得する

△年末、年始の休日は年末は三十日まで就勞する、年始は三日まで休み四日から就勞すること

木炭部新設
配達迅速
水野氷室
平市大町　電話二一九九番

知事からも表彰

江名、大浦校の兒童銀行

貯蓄成績の良かつた子供協同組合を農林省中央金庫では表彰した、その際郡下から大浦小學校子供協同組合が表彰を受けたが更に十二月上旬縣知事賞を授與される事になり兒童達は大喜び、また今度の表彰には江名第一小學校子供信用組合も表彰される事になつた、この子供銀行の預金高は次の通り

△大浦小＝會員七百三十四人、預金四十四万三千三百九圓

△江名小＝會員八百四十四人、預金四十八万四千八百円

平商高珠算競技

平商業高等學校の第二回校內珠算競技大會は廿四日午前十時から行われ學級對抗で三年二組、二年一組、一年五組が夫々優勝、また個人競技では檢定保持者2・3級藤井達男、3級鹿內キヌ4級日塔宏が夫々優勝した成績は次の通り

◆學級對抗△三年1位二組、2位一組、3位三組△二年1位一組、2位四組、3位二組△一年1位五組、2位二組、3位四組

◆個人競技△檢定保持者二三年生(二、三級)1等藤井達男、2等增田宗純、2等數田稔、3等田中一義、一年(三級)3等鹿內キヌ、同(四組)3等日塔宏△檢定非保持者1等若松英子、2等太田力子、同小林世明、3等水竹定子、同小泉雅弘、同清水登美子、一年1等堀江國子、2等五味淵恒吉、3等關和子

群を拔く北會津

相馬勢の追込みなるか

卓球選手權豫選

廿五年度全日本硬式卓球選手權大會豫選兼縣選手權大會は廿五日午後八時から市公會堂本館に出場選手百余名、成績は次の通り（午後一時現在）

△男子シングルス

鎌田(相)2―0佐藤(會)

片寄(磐)2―0荒川(南)

△女子シングルス

木田(南)2―0山崎(磐)

高須(相)0―2鈴木(會)

△男子ダブルス

金原 牛田 北會0―2 信澤 杉山 磐城

遠藤 關根 磐城1―2 唐橋 遠藤 會津

信夫 月崎 相馬2―0 濱田 安田 北會

信夫 月崎 相馬2―0 澁澤 片寄 磐城

△女子ダブルス

齋藤 武藤 相馬2―1 高野 菊地 磐城

柳沼 佐久間 南會2―0 鈴木 吉田 磐城

△男子ジユニアー準々決勝

松崎(相)2―0遠藤(會)

月崎(相)2―0富永(南)

鹽谷(相)0―2兼子(會)

準決勝

月崎(相)2―0兼子(會)

△女子ジユニアー準々決勝

後藤英(北)2―0小野(相)

前田(相)0―2伊藤(會)

佐藤(相)0―2宗像(南)

△ミツクスドダブルス

準々決勝

佐藤 秋澤 南會2―0 半谷 山田 相馬

半田 後藤昭 北會2―1 平出 佐藤 會津

澁澤 高橋 磐城0―2 鎌田 小野田 相馬

大越 佐久間 南會1―2 山寺 蓮沼 會津

經濟自立の辯論會

縣豫選を平市で開く

石城地方事務所では來る三日午前十時から平市農業會館において經濟自立促進歲末特別貯蓄運動推進のため貯蓄納稅と生活改善の合理化及び貿易の振興を圖る辯論並に体驗發表會を行う、青年では自立經濟確立と貯蓄納稅の重要性についての辯論、婦人では生活改善による貯蓄納稅の關連性について体驗發表、なおこの大會には一等から三等まで賞狀が授與され、十二月十日に開かれる縣大會には各郡市から男女一名づゝ出場する

〃チフテリア〃發生

平市新川町二六箱崎德太郎氏三男利信(二)さんは廿四日午後四時ころヂフテリアと判明して隔離された、これで市內に於ける本年度のヂフテリア發生は三名

――內鄕にも發生――

石城郡內鄕町大字高坂字御厩廿四ノ四山崎勝見(二)ちやんは去る廿二日いん喉ヂフテリアと判明

×

石城郡泉村瀧尻玉橋利雄ちやん(二)は廿三日こう頭ヂフテリアと判明

ワカサ會勝つ

赤井バレー大會

赤井村ワカサ會では廿三日の勤勞感謝の日に第一小學校庭でバレー大會を行つた結果

小中校職員1―2ワカサ會、ワカサ會3―0中校生徒、生徒OB1―2ワカサ會、混成チーム1―3ワカサ會

の成績でワカサ會に凱歌があがつた、なお午後四時からは同校講堂で卓球と籠球の練習試合を行つた

【株式市況】

（25日前場　磐城證券）

日發の再編議會通過間違いなしと見られて高進した外休日控えながらしつかり商情となり苫小牧等の紙も出て來た、來週あたりから動き出すかどうか面白いところである

鋼管	杢	呉羽化	―
東洋紡	二〇七	苫小牧	三三〇
鐘紡	一三八	十條紙	三三〇
日清紡	三〇七	本州紙	一三六
呉羽紡	一三七	日セメ	七五
日東紡	一一六	磐城セ	一六〇
片倉	七一	小野田	一三七
帝人	一六五	不動新	三三三
東洋レ	一七〇	陽和不	一八〇
新光レ	三九五	開東不	三〇七
山パル	三七五	三越	四八
東海上	三三三	日麥酒	一八八
新郵船	一七三	朝麥酒	一八七
三井船	一三〇	キリン	三〇五
日發	四三・五	寶酒造	一三五
三井山	四三	野田醬	一五七
日石	七一	豐年油	一〇二
三井造	一〇〇	高壓	五〇
日立	三四	日產化	五六
東北パ	三三七	日活	一三〇

松村氏告別式

故松村鐵郎氏葬儀は廿五日午後二時醫師會を始め各方面の參列者多數の會葬により自宅出棺良前寺に於て告別式を行なつた

拾い讀み

犯罪檢擧の總元締め地檢え「檢事は居るか、猪狩判事はどこだ」と廿二日の晝下り血相かえてど鳴り込んだ四十才位の醉漢あり事務官連ぼう然の態件の男相手なしと見てか机上の書類を摑み出すやら「逮捕狀を請求しろ」とか譯の解らぬことを言つて氣勢をあげている事務室は完全に占據された途端に「執務の邪魔だ外え出ろ」と一喝大聲靜寂を破つた「出ぬか」と云うのと一緒だつた飛鳥の如く飛付いてギユギユ締めつけ抵抗もあらばこそ屋外に放り出した五尺足ずの江尻事務官「山しようは粒でもピリツト辛いものさ」とすましたもの取調べにより件の男は湯本町酒小賣店青柳某かつて營業違反で取り調べを受けたうつ憤が殘つていたものらしいさて酒の上だと事が濟むかどう？

へちまの皮

「割當返上」

（十五）

天邪鬼生

戰爭の遺物というべきものに割當というものがある、供米割當、寄附の割當、貯金の割當、勤勞奉仕の割當と實に數々の割當に苦しめられたものである、割當という言葉には有無を云わさぬ高壓的な響がある、今日は懷具合が惡いからと云つても駄目である、割當ですから是非と云われるともういや應を云うひまはないのである、割當という言葉程人の自由意志をふみにじり人權を無視したものはない然も今尚役人の頭の中にはこの人權無視の割當思想が殘つているとしたらどんなものであろう

お年玉附年賀郵便というのがある、二圓の葉書に一円の寄附金――これは社會事業えの共同募金に向けられる――がついている、その代償には寶くじ式の抽籤番號がついている、年に一度の年賀狀に万に一つの當選率のお年玉をつけて無沙汰をわびることもなかなか良い思い附である、それで正月にはまだ二月もある頃から政府は宣傳に大わらわである、それもよろしい、世はまさに宣傳の世の中である、正月號の雜誌が十月末に發行されるという御時世である

宣傳は早い程良い

處が二、三日前郵便局員が來て年賀郵便を買つてくれと云う、枚數はお宅の割當は二百枚ですから是非という話である、割當で賣る、こんなたやすいことはない割當で賣れるものならば宣傳も商略もいらないのである、割當るというのは買つて貰うのではなく强制的に押しつける事である、恐らく郵便局でも年賀郵便の割當はしない筈である、販賣員に對して一應あの町內は何枚位賣つて來いと販賣數を指示したものに違いないそれを割當ですからと强引に賣りたがる販賣員の頭が問題なのである、これが一般の商賣人ならばこんな賣方をしたら一ぺんでお得意を失くしてしまう處である

獨占事業だから强壓的であつて良いということは無い先般の平市復興寶くじの賣り方も隨分强壓的であり、不愉快であつた、此種の自由意志をふみにじつた不快な販賣方法が役人の頭にだけ當然なもの丶ように寫つているということはとりも直さず役人の頭の中には公僕として國民に奉仕するという氣持などみぢんもなく依然として官僚獨善思想にこり固つていると思われるのである、年賀郵便、復興寶くじ等すべて割當で販賣しようとする考え方を役人の頭から一掃すべきである價値のあるものならば國民は喜んで買うのである、その價値を宣傳することが販賣員の手腕であるべきである、一般の商人の間では火の出るような宣傳と販賣戰が展開している、政府事業のみが一人强制的な販賣方法を採用してすましている時ではないだろう

最も實質的な
1割引サービス!!

洋品の「やまと」ではお得意様えのサービスとして有名化粧品全部を定價の一割引で販賣致して居ります

冬のお仕度は良い品を安く最も良心的な‥‥

洋品の やまと
平市3丁目　電1130

くすり
今日も元気で
關內藥局

◎季節の寵兒!!
文化木炭（厚生大臣推賞）
◆火持よく◆臭氣なく
◆危險のない◆經濟的な
木炭の敵？ 加工燃料！
▲コタツ、火鉢用に最適
▲卸小賣、配達迅速
▲各種燃料取扱
製造販賣
有限會社 共榮燃料工業所
平市正月町六六
電話 一二八四番
小名濱町船引場(登記所前)
共榮燃料小名浜出張所

仁德院 葬送の際は御多用中の處遠路態々御會葬下されかつ御丁重なる御弔辭御香奠を賜わり誠に有難うございました、早速參上致し御禮申上ぐべき處略儀ながら紙上にて御禮申上げます

昭和二十五年十一月二十五日

平市南町
嗣子 松村亨
親戚總代 篠山康
友人總代 高杉清一
　　　　 內木宗八

遊休農耕適地を拓く
食糧增産に田畑46余町を

平土地改良事務所では食糧の增産を計るため澤渡村好間村並に平市四ツ波石森地區の農地開發とこれが農耕道路の開鑿する爲豫てより計畫中だつたが之れが設計完了したので工事補助の申請を縣當局に行つた、この計畫によると總豫算三百五十七万四千円で田二十五町七反歩畑廿一町歩が開懇される道路四千四百卅米とその他溜揚水場が新設される好間村開田二町歩、開畑四町歩で工事豫算は五十七万五千円、溜池一ヶ所廿九万円、澤渡村の計畫は道路二千七百五十米（內一千八百米に完成）六万七千円、開畑十八町七反歩で工事豫算が百卅六万円

石森地區は幹線道路一千六百八十米百九十万円、揚水器一ヶ所廿万五千円、開畑十七町七十九万七千圓、開田三町歩廿八万圓となつている

農家簿記の普及會つくる

石城地方事務所並びに郡農協連合會では從來の各種各様な農家簿記様式整備の方途として來る廿七日午後一時から農業會館で農家簿記普及會を結成する事になつた、協議事項は左の通り

△石城農家簿記普及會について

△郡別講習會開催について

△縣普及會委託モデル町村指定について

その他

闕原氏にトップ賞
赤い羽根協力者を表彰

平市民生事業助成會の定例會は廿七日午後一時から市公會堂日本間で生活扶助の開廢增減決定について、全國社會事業大會出席者の報告並に廿五年度共同募金の經過報告を行い共同募金の第一着完納區の一町目民生委員闕原新一郎氏にトップ賞を又百五十%以上完納した、次の七區委員に表彰狀を授與する南白銀町宮川義一氏、材木町鳥辰次郎、堤ノ內田久要吉氏、三丁目横山方藏氏、二丁目鵜沼彦茂、長橋町桑原ナカ氏、中鹽大山新次郎氏、なお百%の完納者にも感謝狀を贈る

自治功勞者を表彰
錦町政施行記念日に

錦町町制實施十周年同町中學校の新築落成式は廿三日午前十時から蓮沼縣會議長木田、大井川、田畑各縣議箱崎石城地方事務所長、鈴木平市長を始め多數の來賓を得て擧行した、當日表彰された自治教育の功勞者は左の通り

自治功勞者
元村長　金成　通
〃　金成　欽次
元町長　大平菊次郎
〃　赤津　千里
元消防團長
現議長　山崎　登
副議長　大津　國藏
議員　庄子　美雄
〃　赤津幸之亮
元議員　鷲　休三
〃　鷲　三郎
元吏員　下山田大膳
元代理助役　近藤初太郎
教育功勞者
元小學校長　荒井　一二
現教務主任　鵜沼　忠晃
元教員　小野平八郎
〃　野木　幸
吏員功勞者
現助役　金子　義一
〃書記　根本金兵衛
〃　金成　正
吳羽化學錦工場
現工場長　渡邊　恭三

小名浜通信

小名濱町が年中行事の一つとして毎年勵行して來た納稅組合の優良表彰式は勤勞感謝の日の二十三日午前九時に第一小講堂に於て行われた、二百組の組合に對して百六十二組が表彰されて居る、處が町當局は聊か骨抜きの点がある、それは六千世帶を持つ納稅組合は組合員が十五名としても四百內外の組合が設立されて居なくてならない、然るに二百組合では僅かに半數の組合では實績の擧らないのも無理からぬ事である、これをどうすれば增加せしむるかと云う事は町當局は積極性が乏しいと言えたい、納稅組合の必要は誰人も判つて居るのであるから設立を勵行する事を忘れている、表彰された組合は適切なる活動をなした證據であるから未設置地域は熱心家を依嘱して一日も早く設立するという手を打たないのはどう云う譯であろう

×

農藝祭が勤勞感謝の日に擧行された本町では蓋し最初の催しであるようだが、この日を利用して感謝祭を行う事が尤も意義を持つもので、これを切かけに每年十分の準備をして盛大に擧行する用意の必要なる事を痛感するものである、何となれば農業以外の商賣は何の斯のと集會あり、宴會もあるが農家だけは全く限られたものであきらめて居なければならないと云う事は決してあるべき筈がない、この意味から感謝祭は大々的に擧行する事に依つて他の商賣との均衡が取れる筈であるから此の点に留意して有識階級の諸彥は特に十分の注意を喚起して欲しいと思うが故に此の欄を借りて意見を吐露したものである

×

ビニロン工場建設に先立ち其の立地條件が適應し得る好條件が惠まれてあるか否かに就き其の視察として來町した倉敷レーヨン會社取締役たる滿谷企劃部長が視察を行い、更に原町を尋ねて視察した結果、其の結論を左の如き事情の許に視察談を發表した、原町も小名濱町も一長一短はあるが、何れも好い處である事を如述に語つて居る、處が縣廳側の見透しは兩町の爭奪戰は延いては建設を他縣に持つて行く結果としてあぶも取らざる失敗を見るに至るのであるからビニロン工場は一貫作業を避け原料産出の原町において粗製をし小名濱町の工場において精製する事に管理する事は尤も時宜を得たものでもあるから徒らに兩町相爭う事はきようほうの利を占めらるゝ結果となるから兩町有志の觀談の機會をとらえて懇談の必要ありと縣の某技師が態々電話して來た事を見る場合、或いは當の得たる話合いかも知らぬが、何と云うても今日では互にしのぎを削る運命に置かれるのではないかと思うが、兎も角も兩町有志の熟思默考が尤も緊急事であり、またどの道一致点を發見せねばならない斷末魔に迫られて居る玆に過去の成り行きを報道して將來の大計を誤らざる樣注意を喚起するものである

第二中飲料水ろ過器完成

平市ではかねてより第二中校の飲料水並に雜用に使用水のろ過器を同校舍に小川江筋から引水して取つけ中のところこのほど完成し廿四日保險所で水質を檢査を行つた

少年保護委員會

平市役所では廿六日午前十時から市會議室で少年保護委員會を開く

呼吸器病も漸減
届出傳染病本年度平保健所の調べ

平保健所調べによると本年度(十月末日現在)の届出傳染病患者發生件數は廿四年度の四千八百七十件に對し二千三百二十六件で二千五百四十四件の約半數强の激減を示している、その內譯は呼吸器及びその他結核關係が九百八十三名、肺炎昨年の二千名が廿五%と減つている五百三十五名、百日咳四百九名、トラコーマ三百十五名、麻疹五十四名の順でライが昨年の三名だつたのが四名に增加、再發マラリヤは廿三年の十名が廿四年二名となり本年は皆無とその影を消した

役者の衣類盜む

勿來町白米磐農高三年生野山洋太(一七)假名は廿四日午前一時頃同町常磐劇場で茨城縣多賀郡南口南郷村役者北田ツル(三八)さんが入浴中同女の衣類六點(二千七百円相當)を盜んで勿來署え捕つた

營林署員に移動映画

前橋營林局では移動映畫班を管下山間へき地に派遣し林業從業員を慰安しているが、平營林署管下では左の日程で上映する、尙映畫は「母三人」文化映畫「山の惠み」マンガ等になつている

廿六日川前村神樂山、廿七日川前村、高部廿八日三坂村下三坂

醜行の高木校長
PTA糾彈運動開始

バスの中で盜んだ酒に泥醉擧句のはては車掌の制止も聞かず婦女子に戲れ醜行の限りをつくし教育家にあるまじき行爲として非難されていた事件については本社では逸早く事實を發表すると共に眞相調査中であつたが右は內郷町立第二中學校長高木量太郎氏で如何に酒の上とはいえ教育界刷新の上からも斷じて放任出來ずと同校PTAから排斥運動まで展開するに至つた

高木校長は酒癖惡く殊に思想方面で注視される所あり、久ノ濱町小學校在職中も刄物を持つて校長をおどかした、御厩校時代にも火鉢を校長に叩き付けた事實があつたし、內郷校長になつてからも校庭整地に當り生徒を使役せしめ監督不行屆から生徒を死に至らしめた事實があり當然責任を負うべきものを今日まで現職に止つている、當PTAの調べによる家庭生活も乱脈を極めて居り非行續出漸く責任を問われるに至つた

風呂代に値下の聲
浴場の實態調査終る

平保健所では市內九軒の公衆浴場の實態調査していたが同調べに依ると公衆浴場所在より三百米以內の利用戶數は六百五四戶、一日平均利用者は四百五人、此の利用者を職業別に分けると官公署(三五)會社(八六)工場(七二)商業(一四四)農業(五)その他三百十二名になつている、尙利用者の浴場經營主の希望は左の通り

一、入浴料金（現在大人十円）値下げ

二、洗髮する場所を一定すること

三、上り場を潤澤する

四、傳染病、性病患者の入浴を嚴禁されたい

誘蛾燈電線盜む

好間村大字下好間農中村富治郎(六六)さん方では廿一日午後四時から廿二日午後四時の間に自宅西北方百米地內水田に設置していた誘蛾燈電線一千百米が盜まれた

炭車にはさまれて重傷

廿三日午後五時半ころ石城郡山田村大昭炭鑛第二鑛運搬夫早坂昇(三)は空車が轉落した際はさまれ全治二ヶ月の重傷を負つた

電話機種に騙取して擧る

平市署では廿四日朝市內古鍛冶町三〇彫刻師佐藤陽孝(六三)を横領の疑いで逮捕した、調べに依れば同人は去月三日電話機賣買を斡施するからと市內一丁目三杉本久造さんより手付金として五千円更に內金として一万円を騙取したもの

中學對抗バスケット大會

內郷。好間、赤井、小川、川前の第三區中學對抗男女バスケット大會は廿五日午前九時から小川村小川中學校で行う

トラックに刎られ死亡

市內鎌田町宮前農崎村熊藏(六六)は廿三日午後五時頃同町舊國道上で日本補道會社のトラック＝運轉手鈴木正一(三〇)＝に刎ねられ頭部を强打廿四日午前九時死亡

自轉車泥擧る

廿三日午後七時頃平市署は市內十五丁目一二土工宮崎七男(三六)を窃盜の疑いで逮捕した、同人は昨年二月二日午後六時頃市內田町いづみや商店前露店台裏で市內田町二〇露店商佐川巳代治(四五)さん所有の中古自轉車一台を盜んだもの

追剝片割れ江名署で逮捕

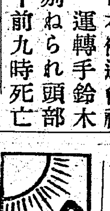
江名町中之作土工新妻忠義(二八)と共謀二十日同町漁夫小野寺久義を撲りつけた上腕時計を强奪し、逃走中の片捧同町漁夫佐藤米男(三三)は二十四日江名町署に捕まり二十五日身柄送檢された

スリ常習犯？
小名濱署で機擧

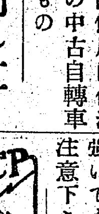
小名濱町字沖見漁夫志賀重幸(三三)に廿二日午後八時ころ同町小名川薬谷方に侵入ズボンなど衣類九点時價一万円相當盜み廿三日小名濱町署の大山巡査に逮捕された、なお同人はこのほか石城郡下各地でスリ、窃盜など十數件をはたらいている疑あり同町署で余罪追及中

好間鑛で歌謠會

廿六日午後六時から好間村古河會館でテイチク專屬菅原都々子一行の歌謠會を開く



今晩は北西の風、宵のうち多少雲がありますが良い天氣で明朝は冷え込みませう明日は北西の風やや强く良い天氣ですが山添い地方では時々曇りましよう、明後日も北西の風良い天氣の見込です、海上は季節風がやゝ强いですから小型船舶は御注意下さい



【廿六日】前7時15分　心の灯＝キリスト教的結婚觀＝福島大學井上教授
後3時―4時　濱通藝能祭中繼放送
【廿七日】後6時30分　文化便り＝松明け＝前アナ朗讀

▼女店員急募▲
一、高女卒一名　一、新制中卒若干名
一、履歴書本人持參、詳細面談の上
平市紺屋町　電四六五番
平文化劇場隣　みかさ食堂

27日より12月3日迄
—(次週上映)—
大暴風雨と濁流の中に必死の極悪人!!!
濁流渦巻く大洪水！流されて行く赤ん坊!!
生死の瞬間が捲き起す人間愛の大スペクタクル感激篇！
大映
三悪人と赤ん坊
監督　小石榮一
キャスト
藤田進　清水將夫　美奈川麗子
植村謙二郎　三條美紀
世界館

26日より12月2日迄
—(次週上映)—
美貌の三人姉妹が辿る愛慾行狀記！
戀愛、結婚、性の問題を痛烈にえぐつた丹羽文雄の傑作小說の映畫化！
松竹
薔薇合戰
監督　成瀨巳喜男
キャスト
三宅邦子　桂木洋子　大坂志郎
若山セツ子　鶴田浩二
平館

呼吸器科
胃腸科
小兒科
平市古鍛冶町(縣社下)
後藤醫院
電話一〇三六番

光自轉車
代理店
平市六丁目
ヱビス自轉車店

サンキュー、三久三休さん
佐々木商店
平市鍛冶町　電(呼)五〇三番

195°年式
ドレープ型背廣
最新型高級洋服
裁斷と裁縫
移る時代の尖端を、そしてスマートな洋服を造る店
冬服の新調なら着る身になつて親切をモツトーに造る皆様の渡邊洋服店
御注文は電話九五七番、流行柄の現品及びサンプルを豊富に取揃え遠近を問はず御伺ひ致します
渡邊洋服店
紅小路
電957